

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・期待レベルが「基本」の項目(黄色マーク項目)は、必須記載項目です。
 ・期待レベルが「応用」の項目は、該当がある場合に記載してください。

様式第3号

【基本的な事項】

| カテゴリ | チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項（例）】 | 期待レベル | ・環境 ・社会 ・経済 | 具体的な取組 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
|-------|---|-------|-------------------|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 人権・労働 | 【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している | 基本 | 社会 | ・給与、教育、昇進、登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別の無い体制を構築してあります。 | | | | | ○ | | | ○ | | ○ | | | | | ○ | | |
| | 【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている | 基本 | 社会 | ・ハラスメントの相談窓口の再整備と再設置 ・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記 | | | | ○ | | | ○ | | | | | | | | | ○ | |
| | 【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない | 基本 | 社会 | ・労働基準法の内容を理解し、長時間労働の無いよう労働時間打刻システムを導入し、システム化し、労働時間管理体制を整えております。 | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | |
| | 【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している | 基本 | 社会 | ・外国人労働者も日本人労働者と同じ雇用条件であり、実際に役職者への昇進もしています。 | | | ○ | | | ○ | | ○ | | | | | | | | | |
| | 【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている | 基本 | 社会 | ・フォークリフトやユニック操作などの資格取得への会社での補助 ・安全のためのヘルメット、安全靴などの用意 | | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | | | |
| | 【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している | 基本 | 社会 | ・メンタルヘルスに関する方針と計画の策定 ・メンタルヘルスに対応した休職規定などの整備 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている | 基本 | 社会 | ・多様な人材が活躍できる社内制度を設けている ・「生涯雇用」をキーワードに定年退職後にも「協力会」という形で働く体制ができている | | | | ○ | | ○ | | ○ | | | | | | | | | |
| | 【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる | 応用 | 社会 | | | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | | | |
| | 【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している | 応用 | 社会、経済 | ・育成のチャンスととらえ、国・県・市や民間などで行われる研修にも、職務や役割で必要な内容があれば参加させる環境となっています ・展示会への参加などにより、販売のスキル教育や他社の商品などを実際に見て商品知識・商品開発などのスキルアップ教育などにも取り組んでいる。 | | | ○ | | | ○ | | ○ | | | | | | | | | |
| | 【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている | 応用 | 社会、経済 | | | | | | | | ○ | | ○ | | | | | | | | |
| | 【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている | 基本 | 環境 | ・廃棄物の再利用化や、分別・削減に努めています。（割りばしを捨てず燃え木に使用したりなど） | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 12 | 【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている | 基本 | 環境 | ・無駄なエネルギーを使わないように努め、効率化を考えています。 | | | | | | ○ | | | | ○ | | ○ | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|---|----|-------|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 環境 | 【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている | 基本 | 環境 | ・オフィスの改善（LED照明の導入、照明の間引き、パソコンの電源設定の見直し、空調設定の見直しなど） | | | | | | ○ | | | | ○ | ○ | | |
| | 【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている | 基本 | 環境 | ・法令等で禁止されている有害化学会物質の把握を行い、取り扱う際には適切な使用・管理の徹底を行います。 | | | ○ | | | ○ | | | | ○ | ○ | | |
| | 【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している | 基本 | 環境 | ・昇仙峡や河口湖など自然の中での開発が多いので、生態系へ悪影響の少ない自然天然板などの素材を使用するよう心掛けています。 | | | | | | ○ | | | | | | ○ | |
| | 【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている | 応用 | 環境 | | | | | | | ○ | | | | | | | |
| | 【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している | 応用 | 環境 | | | | ○ | | | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | ○ |
| | 【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している | 応用 | 環境 | | | | | | | | | | | | ○ | | |
| | 【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている | 応用 | 環境 | | | | | | | ○ | | | | | ○ | | |
| | 【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている | 応用 | 環境 | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ |
| | 【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている | 応用 | 環境 | | | | | | | ○ | | | | | ○ | ○ | ○ |
| | 【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している | 基本 | 社会 | ・汚職、贈収賄路禁止等を社内教育し、社内浸透していく。 | | | | | | | | | | | | | ○ |
| 公正な事業慣行 | 【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している | 基本 | 社会 | ・不正競争行為禁止を社内教育し、社内浸透していく。 | | | | | | | | | | | | | ○ |
| | 【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている | 基本 | 社会 | ・特許、商標登録などの取得や管理を行っている | | | | | | | ○ | ○ | | | | | |
| | 【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している | 基本 | 社会 | ・個人情報は専門部門のスタッフでのみ閲覧可能となっている。 ・情報管理ルールの整備を行い周知徹底を図ります。 | | | | | | | | | | | | | ○ |
| | 【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している | 応用 | 社会 | | | | | | | | | | | | | | ○ |
| | 【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスマント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している | 応用 | 社会 | | | | | | | ○ | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している | 基本 | 経済 | ・新商品の開発時に考えられるリスクを皆で考え、対策し、注意事項などにも表記して使用する際の注意を促すようにしている。 | | | ○ | | | | | | | | ○ | | |
| 製品・サービス | 【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している | 基本 | 経済 | ・顧客からのクレーム対応表を作り、過去のクレームから良いサービス対応ができる仕組みを作成している ・顧客の声を社内共有するための基本方針、体制づくりを行っていく。 | | | | | | | | | ○ | | | | |
| | 【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている | 応用 | 経済、環境 | | | | | | | ○ | | | | | ○ | ○ | ○ |
| | 【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている | 応用 | 社会、経済 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 【地域への影響への配慮】 ・自事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる | 基本 | 環境、経済 | ・倉庫設置の際にも、地域の方との対話に努め要望をしっかりと聞き対応しながら取り組んでいる。 | | | | ○ | | | | | ○ | | ○ | ○ | ○ |

【その他独自に行っている取組】